発売:共栄書房

URL: http://kadensha.net/ e-mail: kadensha@muf.biglobe.ne.jp

弁護士激増政策に対する批判の決定版

司法改革の失敗

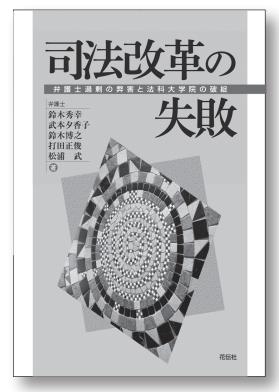
弁護士過剰の弊害と法科大学院の破綻

弁護士 鈴木秀幸・武本夕香子・鈴木博之・打田正俊・松浦 武 著 (兵庫 48 期) (愛知 58 期)

弁護士大増員政策は、国民に どのような影響を及ぼすのか?

日弁連の熱狂と暴走 vs 会員の反対運動の全過程の歴史。 事実を冷厳に見つめ、政策の転換を図るべきではないか。 新自由主義的国策である「大きな司法」の誤りから脱却し 国民のための「適切な規模の司法」へ!

法曹、法学者、学生、報道関係者の必読の書



定価:本体 3200 円+税

本書刊行にあたって――日弁連の団結復活のために -

司法試験合格者年間 3000 人案がまとめられたのは 2000 年8月で、その 12 年後の現在、我が国の弁護士数は3万 2088 人 (2012 年 3 月末) に急増した。20 世紀末の10 年余りの時期の司法改革論議を知らない弁護士が、弁護士全体の 半数近く(約47%)を占める時代になった。

過去の一時代の記録を含めて本書を世に出すことにしたのは、今回の司法改革について、史実にもとづく正しい歴史 を残す必要と責任を感じたからである。次の世代の人々から問われ、かつ、背中を押された。

政策決定に関与した者は、司法改革を振り返り、正しく総括する責任を負う。そのうえで、日弁連は、会内の対立を 克服し、自治組織にふさわしい団結を復活させなければならない。本書が、それに役立つことを望む。 (本書「序論|より)

主な目次

Ⅰ 司法のあり方と適正な弁護士人口政策

鈴木秀幸

Ⅱ 弁護士人口論の原理と法文化

武本夕香子

|| 弁護士の実際の需要(分野別)

鈴木秀幸 武本夕香子

鈴木博之

IV 法学教育、司法試験、法曹養成、

法務専門家養成のあり方 鈴木秀幸

V 我が国の弁護士制度とロースクール 制度の問題

打田正俊

VI 司法と法曹の役割、司法修習と給費制 松浦 武 資料編 日弁連史に刻まれなかった資料の幾片

FAX 03-3239-8272 この注文書で当社にお申し込み下さい。送料無料。10冊以上、定価の1割引。

司法改革の失敗			弁護士過剰の弊害と法科大学院の破綻	A5 判上製	496 頁	本体 3200 円+税
部数	ご住所	∓				
m	お名前		お電話			